

## スーパー耐久シリーズ2016 菅生

### 「菅生スーパー耐久レース3時間」

開催日:2016年5月13~5月15日

コース:スポーツランド菅生

Wether/Condition:(予選)晴れ/DRY

Wether/Condition:(決勝)晴れ/DRY

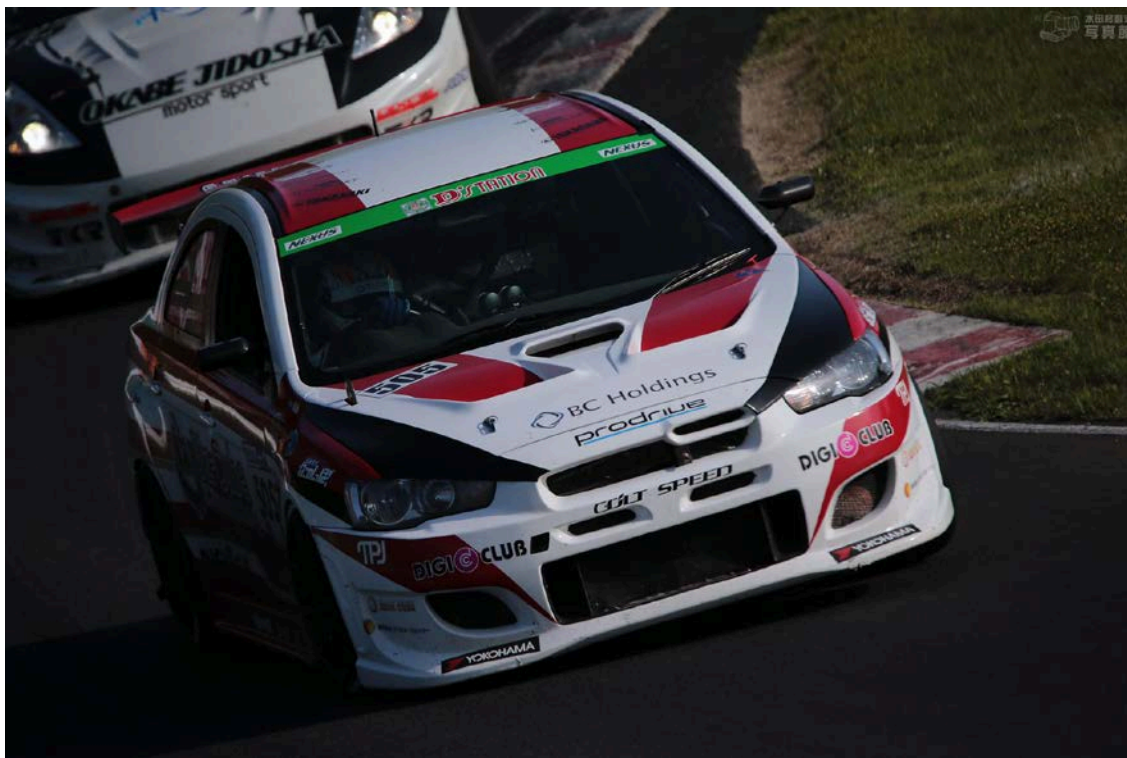
チーム:ビズキューブレーシング ランサーX

ドライバー: 田ヶ原 章蔵/白坂 卓也/岡本 武之/

来場者数:13000人



■公式練習 5月13日



前回の開幕戦は予想もしない早々のリタイアになってしまったビズキューブ レーシングランサーX。第2戦の東北での戦いは、なんとしても表彰台を目標に以前ASレーシングで活躍してくれた白坂選手を招集。2011年の優勝コンビの田ヶ原選手とベテラン岡本選手の3人で優勝を目指すことになりました！！白坂選手、田ヶ原選手、岡本選手それぞれが練習走行では調整や確認を精力的に行い、クラス2番手タイムを出すなど好調のまま練習走行が終了。明日の予選に期待がかかる。チームも雰囲気は良く最高のスタートをきった。



■ 予選 5月14日

雲ひとつない晴天での予選。Aドライバーの田ヶ原選手からスタート。かなり気合の入った雰囲気から車の状態を確認しながらアタックへ入る。しかし思うようなタイムを出せず・・・クラス4番手となり残念感が広がる。しかし今回はBドライバーにスーパーGTでも活躍している白坂選手が担当することで楽しみな予選。しっかりクリアラップを取るべくスペースを確認しながら走行するも中々クリアが取れず・・・結果5番手になり合算タイムで総合20番手、クラス6台中4番手から明日の本番は追い上げる結果となった。そして今回 F4 レースとダブルヘッダーの岡本選手がしっかりとCドライバー予選で基準タイムをクリアして明日の本番に備える形になり、本来なら予選も期待がかかっただけに残念ではあったが、明日に期待するしかない。さて・・・結果はいかに・・・？！



◆予選総合タイム順位結果

- 1: CarNO.59 DAMD MOTUL ED WRX STI TIME:3'02.572
- 2: CarNO.6 新菱オート DIXCEL エボ`X TIME:3'03.576
- 3: CarNO.7 恒力技巧☆新菱オート DXL エボ`IX TIME:3'05.470

4: CarNO.505 ビズキューブレーシング ランサーX TIME:3'05.631

ドライバー: 田ヶ原 章蔵 TIME:1'32.419

ドライバー: 白坂 卓也 TIME:1'33.221

ドライバー: 岡本 武之 TIME:1'40.060



■ 決勝 5月15日

決勝日も肌寒いものの好天に恵まれた。そして午後からの3時間耐久レースがスタート！！  
スタートは白坂選手が担当して序盤で最下位へ転落するもしっかりとペースを抑え前との差を確認しながらの走行。しかしブレーキトラブルから早々にピットイン。6周程の周回遅れになるも誰一人諦めず上位を目指しリスタートをきる。1時間が過ぎたあたりで他車の相次いでトラブルやクラッシュでペースカーが入り、そのタイミングで田ヶ原選手へドライバーチェンジ。その後ペースカーランがあった後残り1時間15分程でレース再開。田ヶ原選手は上位陣より速いラップで猛追。気が付けば他車のトラブル等もあり3番手まで順位を回復。そののち、岡本選手へ変わり猛追するも残念ながら序盤のトラブルの余分なピットインで4番手に留まることになった。本当に惜しいレースだった。ご来場頂いたファンの方々やスポンサー各位、チームスタッフ全員に感謝を申し上げます。引き続きの皆さんの応援宜しくお願い申し上げます。次回は来月の鈴鹿。表彰台を目指しチーム一丸で頑張ります！！



- 1: CarNO.6 新菱オート DIXCEL エボX 99LAP
- 2: CarNO.20 RSオガワADVANランサー 99LAP
- 3: CarNO. 59 DAMD MOTUL ED WRX STI 94LAP
- 4: CarNO.505 ビズキューブレーシング ランサーX 92LAP



### ■ レース後コメント

#### ◆ 星名 功一代表

決勝レース序盤でのピットインがなかったら久々の表彰台だっただけに本当に悔やまれるレースでした。

#### ◆ 田ヶ原 章蔵選手

作戦含め..もう少し手はあったのかな? ! と思います..白坂選手と久しぶりに組めて面白かったし、鈴鹿では更に上位目指してやるだけです。トラブルがもったいない!!

#### ◆ 白坂 卓也選手

「序盤のブレーキトラブルによって勝負権を失った事は非常に残念ですが、確実に表彰台を狙う事が出来る体制である事を感じる事が出来ました。特に決勝でのマシンバランスは非常に良く、ブレーキトラブル以外はレースラップでの強さも確認する事が出来ました。予選、決勝とチームとの連携や作戦面などの課題もハッキリしたので次戦以降に活かせると思います。今回はスポット参戦になりましたが、数年振りの AS レーシングとのレースを楽しむ事ができた事に感謝の気持ちでいっぱいです。章蔵選手、岡本選手を始めチーム関係者全員に感謝致します。」

#### ◆ 岡本 武之選手

今回は、JAF F4とダブルエントリーでした。4月のF4開幕戦の岡山でフリー走行中にブレーキトラブルで大クラッシュをしたのですが、何とか体も回復したので無事に出場することができました。また、今がまさに旬のスーパーエース白坂君のスポット参戦もあり僕はCDライバーだったので、予選のプレッシャーもなく、決勝も大勢が決した後のショートステイでリラックスして楽しく走行させていただきました。結果は4位で表彰台に届きませんでしたが、開幕戦がリタイアだったのでまずは完走できてほっとしています。F4も楽しく乗ることができたので本当に楽しい週末でした。これからも楽しくレースを続けていきたいと思いますので、応援よろしくお願い致します。

